



資料配布場所

- 1 筑波研究学園都市記者会
- 2 つくば市記者会

平成 24 年 12 月 13 日

国土交通省国土技術政策総合研究所

都市インフラを利用した水素供給の実験について

ー 国内初 都市インフラに水素を導入 ー

1 概要

国土交通省国土技術政策総合研究所では、研究プロジェクト「低炭素・水素 エネルギー活用社会に向けた都市システム技術の開発（H21～H24）」において、新たなエネルギー媒体としての水素の供給及び利用に関する技術開発に取り組んでいます。その一環として、つくば市の都市インフラを利用して水素を供給する実験を実施します。また、供給した水素を生活に利用する模擬実験も合わせて実施します。今回のような都市インフラを利用した水素供給は従来見られず、世界的に見ても先駆的な事例になると考えられます。

実験は公開で行い、現地での取材を受け付けます。ただし、実験準備及び実施の都合上、現地では十分な対応を行うことはできませんので、その旨予めご了承ください。

2 日程等

- ・ 日 時 平成 24 年 12 月 17 日（月）から 19 日（水） 13:00-16:00
- ・ 場 所 茨城県つくば市中央公園東側ペデストリアンデッキ（別紙 1）
- ・ 実施主体 国土技術政策総合研究所

本実験は、つくば市の協力の下実施するものです。

- ・ 取材対応 12 月 17 日 13 時 30 分から趣旨説明を行います。

天候の状況等により、実施時間は前後する場合があります。

- ・ 実験の概要（別紙 2）

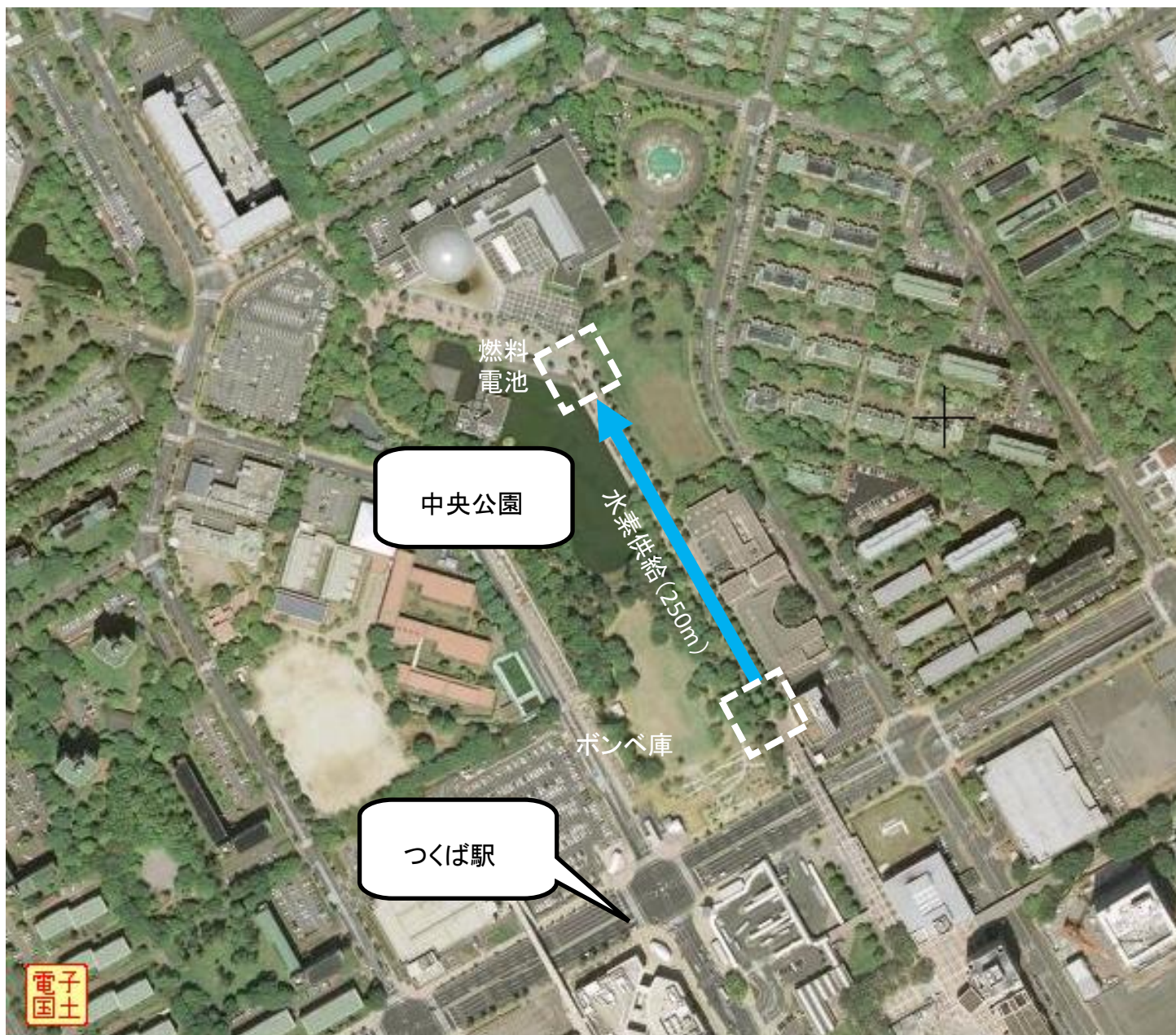
つくば市の都市インフラ（共同溝スペース）を利用して水素配管を約 250m 敷設し、水素を供給し、供給水素を使用して燃料電池で電気と熱を発生させる実験を行います。

【問い合わせ先】国土技術政策総合研究所

環境・設備基準研究室 足永、久保田

TEL 029-864-4356、4382（直通）

FAX 029-864-6774



低炭素・水素エネルギー活用社会に向けた都市システム技術の開発プロジェクト



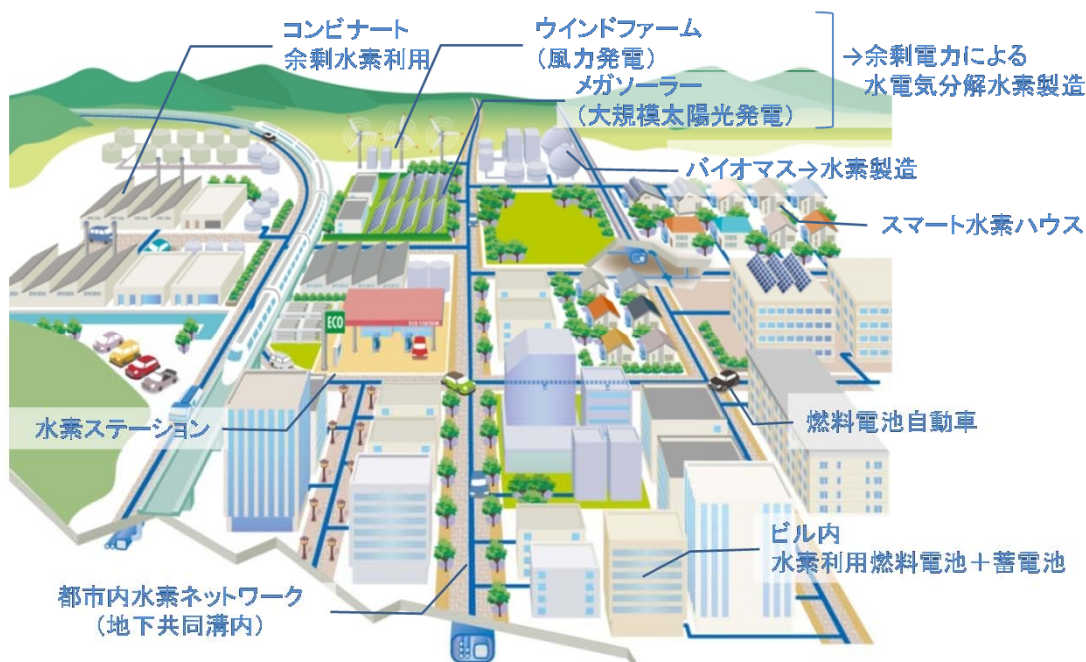
国土交通省国土技術政策総合研究所／つくば市連携
つくば環境スタイル「実験低炭素タウン構想」プロジェクト
平成24年度 水素供給実験について

1. 将来の水素エネルギー利用に向けて

水素は水の電気分解を通じて電気との循環利用が可能です。水素からは燃料電池により電気と水と熱が発生し、電気からは水素と酸素が発生します。この特性を活かしながら、水素は様々なメリットをもつ将来のエネルギー源のひとつとして期待されています。



2. 将来の水素タウンイメージ



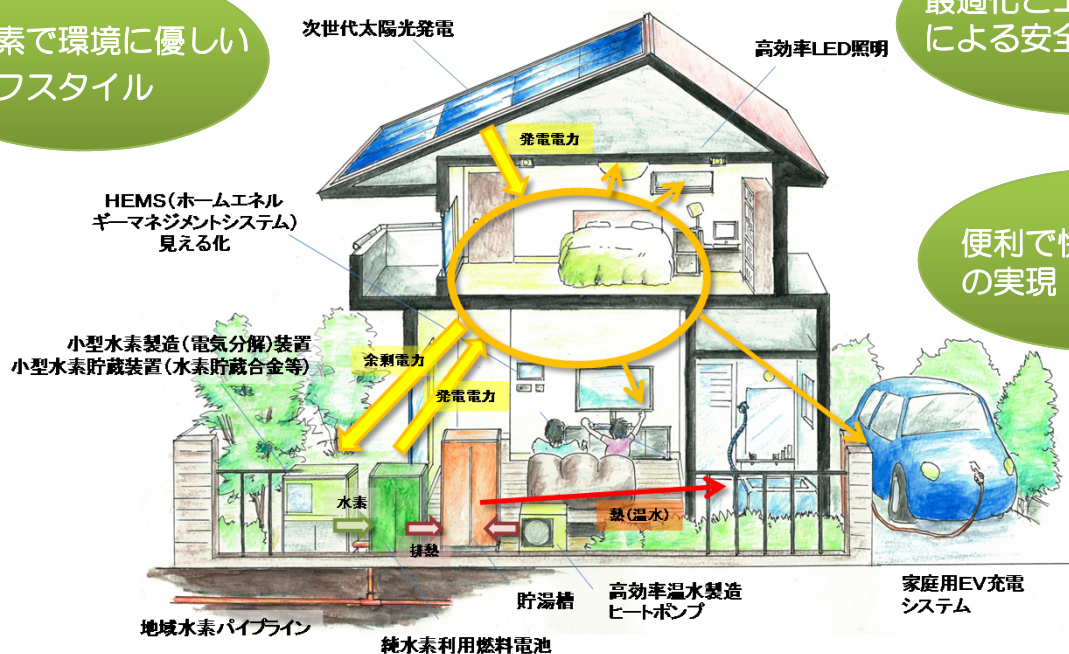
3. スマート水素ハウス

近未来、水素が地域のエネルギー源として整備された際には、環境に優しく、安全・安心、快適を兼ね備える「スマート水素ハウス」の実現を目指しています。

低炭素で環境に優しい
ライフスタイル

最適化とエネルギー自立
による安全・安心

便利で快適な暮らし
の実現



本実験の概要

つくば市の共同溝を利用した
将来の水素エネルギー供給と、
水素を活用した未来の暮らしに
ついて検証します。

